

親愛なるミュージシャン

この度はArturia BeatStep Proをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。BeatStep Proは、ノブやパッドを装備したMIDIコントローラーに、応用性の高いスタンドアロンタイプのシーケンサーを組み合わせたユニットです。

BeatStep Proは様々なセッティングに組み込むことができ、幅広い用途に使用できます。用途のすべてを完全にリストアップすることは不可能ですが、いくつかの使用方法をこのクイック・スタートでご紹介します。

BeatStep Proが、音楽制作やライブ等の一助になれば幸いです。

Arturiaチーム

⚠ 重要 : BeatStep Proをお使いになる前に、Arturiaウェブサイト(www.arturia.com)にアクセスし、最新ファームウェアやエディターソフトウェア、チュートリアルなどをご確認ください。

パッケージ内容

- BeatStep Pro本体
- マイクロUSB(Bタイプ)ケーブル
- アンチグラウンドループアダプター × 1本
- 5ピンDIN MIDIケーブル × 2本
- Clock DIN ケーブル × 1本
- 製品登録カード



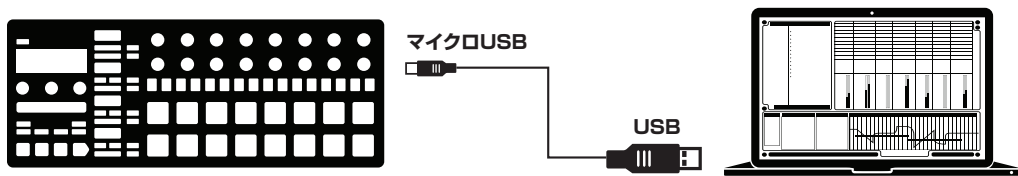
輸入販売元

株式会社コルグ KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

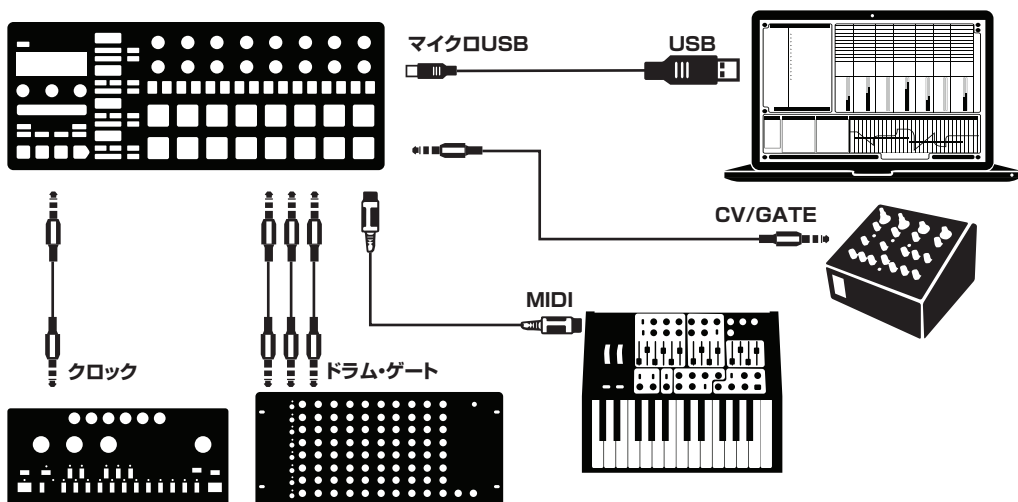
接続する

BeatStep Proは様々な機器に接続でき、幅広い用途に対応できます。セッティング例のいくつかをご紹介します。

BeatStep Proをコンピュータと組み合わせて使用する場合



BeatStep Proを様々な機器と接続して使用する場合



アナログ・シンセサイザーのピッチなどを制御するCV(コントロール・ボルテージ)には2つのタイプがあります。BeatStep Proでは、MIDI Control Centerアプリケーションで「V/Oct」(Arturiaシンセサイザー、ユーロラック・モジュール等)または「Hz/V」(コルグ、ヤマハ製ビンテージ・シンセサイザー等)のどちらかに切り替えることができます。

設定する

BeatStep Proは、パッドやエンコーダー、トランスポート・ボタンに任意の機能を割り当てることができ、シーケンスのエディットも行えます。これらの設定は、フリーウェアのMIDI Control Centerアプリケーションで行います。

1. こちらへアクセス : <http://www.arturia.com/beatstep-pro-start>
2. MIDI Control Centerのインストーラーをダウンロードする

MIDI Control Centerアプリケーションの使用方法につきましては、Arturiaウェブサイトをご覧ください。フォーラムで質問したり、テクニカルサポートにお問い合わせすることもできます (Arturiaのアカウント作成が必要になります)。

プロジェクト

BeatStep Proは、16個のプロジェクトをメモリーし、呼び出すことができます。

各プロジェクトには、MIDIコントローラー・マッピング、1バンク分のシーケンス (16シーケンス、1シーケンスには3つのシーケンス (Seq1、Seq2、Drum)) をメモリーできます。プロジェクトの呼び出しは、[PROJECT] ボタンを押しながら16個のステップ・ボタンをいずれかを押します。ステップ・ボタンを押すと、そのボタンが点灯し、そのプロジェクトがロードされます。

コントロール・モード

コントロール・モードは、BeatStep Proをノブやパッドが付いたコントローラーとして使用するためのモードです。このモードに入ると (CONTROL MODE) ボタンが赤く点灯します。

パッドはドラム・パッドまたはMIDIボタン (アサイン可能) として使用できます。ステップ・ボタンはMIDIトグルスイッチとして使用できます。エンコーダーはほとんどのDAWやプラグイン、ハードウェアのMIDI機器でマッピング可能なMIDIパラメーターのコントロールに使用できます。トランスポート・ボタンでお使いのDAWのリモート・コントロールが行えます。



すべてのノブ、ボタン、パッドのデフォルト設定のMIDIチャンネルはすべて同一のチャンネル (グローバル・チャンネル) に設定されています (変更可能)。また、エディター・ソフトウェアを使用して、各コントローラーを別々のチャンネルに設定することもできます。



グローバルMIDIチャンネルの変更方法 :

[CHAN] ボタンを長押しすると、その時に設定されているMIDIチャンネルに対応したステップ・ボタンが点灯します。[CHAN] ボタンを押しながら1~16のステップ・ボタンのいずれかを押すとチャンネル変更ができます。

シーケンサー・モード

シーケンサー・モードは、BeatStep Proをステップ・シーケンサーとして使用するためのモードです。(SEQUENCER 1)、(SEQUENCER 2)、または(DRUM) ボタンが点灯している場合、このモードに入っています。ステップ・シーケンサーは、シンセサイザーやドラムマシンにパターンを繰り返し演奏させるのに適しています。

BeatStep Proと各機器がMIDI、USBまたはCV/GATEで接続されていることをご確認ください。

シーケンスをスタートさせる：

[PLAY] ボタンを押すと、シーケンスが内蔵クロックのテンポに従って演奏します。演奏時は、ステップ・ボタンが点灯して演奏しているステップの位置を表示します。

ノートの追加、ピッチ、ベロシティ、長さ(ゲート)の変更、シーケンスのシフト：

シーケンスの演奏中にステップ・ボタンを押すと、そのボタンが点灯し、それに対応したノートを演奏します。また、ステップ・ボタンをオン/オフすることでノートの追加や休符を入れることができます。

SEQ1 SEQUENCER 1または2セクションの{KNOBS} ボタンを、(PITCH)が点灯するまで押します。この状態で、エンコーダーを回すとピッチの変更ができます。この時、ピッチが上下していることを音で確認できます。また、その音程が{TEMPO/VALUE} ディスプレイに表示されます。

SEQ1 SEQUENCER 1、2、DRUMセクションのいずれかの{KNOBS} ボタンを、(GATE)が点灯するまで押します。この状態で、それぞれのエンコーダーを回すと音の長さ(ゲートの値)を変更できます。この時、変更したゲートの値が{TEMPO/VALUE} ディスプレイに表示されます。ゲートの値が「99%」の場合はタイになり、次のステップとつながった状態になります。

SEQ1 SEQUENCER 1、2、DRUMセクションのいずれかの{KNOBS} ボタンを、(GATE)が点灯するまで押します。この状態で、各エンコーダーを回すと音の長さ(ゲートの値)を変更できます。この時、変更したゲートの値が{TEMPO/VALUE} ディスプレイに表示されます。ゲートの値には1~99%、TIE、SLIDEがあります。

DRUM DRUMセクションの{KNOBS} ボタンを、(SHIFT)が点灯するまで押します。この状態でそれぞれのエンコーダーを回すと、トリガーがクオンタイズされたポジションから移動(シフト)します。シフト量は{TEMPO/VALUE} ディスプレイに表示されます。

シーケンスを変更する：

SEQ1 BeatStep Proは、各シーケンサー(SEQ 1、SEQ 2、DRUM)に16個のシーケンスをメモリーできます。シーケンスは、(SEQUENCER 1)、(SEQUENCER 2)または(DRUM) ボタンを押し、1~16のステップ・ボタンを押して変更できます。(RECALL) ボタンを長押しすると、その時にロードされているシーケンスを表示します。シーケンスの変更は、各セクションにある{<}または{>} ボタンを押して次または前のシーケンスに変更することもできます。

シーケンスを消去する：

{SHIFT} ボタンを押しながらステップ・ボタン1を押すと、その時選択しているシーケンスが消去されます。

シーケンスをミュートする：

各セクションの{MUTE} ボタンを押すと、そのセクションのシーケンスがミュートされます。

その他の機能：

{SHIFT} ボタンを押しながら、パッドを押したりメイン・データ・ダイヤルを回すと、その他の機能の操作ができます。その他の機能には、パターンの再生方向の切り替えや、テンポトランスポーズの設定、タイム・ディビジョンなどがあります。また、{SHIFT} ボタンを押しながら、ステップ・ボタン1を押すと、その時に選択しているシーケンスが消去されます。